

WOWOW

番組リリース

2013.04.16発行

No.2013-2466

ドラマ

連続ドラマW 配達されたい私たち

5月12日(日)スタート(全5話)[第1話無料放送]

WOWOW
プライム

毎週日曜夜10:00

32歳、うつ。心を失った男が配り始めた7年前の7通の手紙が、小さな町に奇跡と感動を巻き起こしていく。涙とユーモアにあふれる異色のヒューマンストーリー。



大ヒット映画『私をスキーに連れてって』(87)、『僕らはみんな生きている』(93)の脚本家・一色伸幸氏が、自身のうつ病克服経験をもとに描いた、出会いと別れ、再生をテーマにした素敵な涙とユーモアにあふれる異色のヒューマンストーリーが連続ドラマWに登場。

うつ病の男が配り始めた7年前に捨てられた7通の手紙。開封されるたびにさまざまな思いが解き放たれ、やがてひとつの奇跡の渦となって町を駆け抜けていく...

塚本高史、栗山千明、長谷川京子ほか、個性豊かな豪華俳優陣が出演。そして、古厩智之、小林聖太郎という2人の気鋭の映画監督が演出。さらに、佐野元春が、「二十歳の約束」(CX)以来、21年ぶりに連続ドラマに主題歌を提供することが決定。すばらしいクリエイターたちの力を結集し、多くの人々に「心の処方箋」をお届けします。

<ストーリー>

澤野始(塚本高史)、32歳。うつ病。仕事も失くし、妻・正美(長谷川京子)との関係もきしみ始め、6歳の息子・輝ともうまく関係を築けない。ある日、自殺しようとして訪れた元映画館の廃墟で、7年前に捨てられた7通の手紙を拾う。澤野は人生のカウントダウンとしてその手紙を配達することにした。そして最初に、理容店を営む有(栗山千明)に手紙を渡す。それは、幼い頃に有と父親を捨てた母からのもので、澤野が向かう先々で、悲喜こもごもさまざまな人間ドラマが巻き起こる。果たして澤野は生きる意味を見つけていけるのか。小さな町の小さな冒険譚の始まりだ。

原作・脚本：一色伸幸(『私をスキーに連れてって』『病院へ行こう』)

「配達されたい私たち」(角川文庫刊) 3/23発売

監督：古厩智之(『ロボコン』『武士道シックスティーン』)

小林聖太郎(『毎日かあさん』『かぞくのひけつ』)

音楽：妹尾武

出演：塚本高史 栗山千明 / 長谷川京子

/ 堀部圭亮 柄本佑 須田瑛斗 西岡徳馬

/ 有森也実 榊英雄 藤田弓子 柳家喬太郎 大和田獏 / 石黒賢・佐藤二朗 / 黒谷友香 京野こみ 海東健

/ 大地康雄 中尾明慶 柳下大 中村育二 根岸季衣 / 田畑智子 近藤芳正 一色洋平 古村比呂

主題歌：佐野元春「虹をつかむ人」(DaisyMusic)

●新規・追加登録の方はこちら→<https://prgnews.wowow.co.jp/>

●番組写真・資料のお問い合わせ先：Tel. 03-4330-8155 Fax. 03-4330-8156(情報センター)

*都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります。

ストーリー

澤野始（塚本高史）、32歳。うつ病。仕事も失くし、妻・正美（長谷川京子）との関係もきしみ始め、6歳の息子・輝ともうまく関係を築けない。ある日、自殺しようとして訪れた元映画館の廃墟で、7年前に捨てられた7通の手紙を拾う。澤野は人生のカウントダウンとしてその手紙を配達することに。最初に、理容店を営む有（栗山千明）に手紙を渡す。それは、幼い頃に有と父を捨てた母・ミソノ（有森也実）と駆け落ちした男からのもので…。澤野が向かう先々で、悲喜こもごも様々な人間ドラマが巻き起こる。果たして澤野は生きる意味を見つけることができるのか。小さな町の小さな冒険譚の始まりだ。



32歳、男。うつ。心をなくした男が届ける、心をつなぐ7通の手紙

第1話「澤野始は家族を見た」

幼い頃、自分と父を捨てた母からのメッセージと不器用な夫から死後に届いた誕生日祝い

1通目は母と駆け落ちした男からの手紙。娘の有は初めて母の愛の深さと以前に見知らぬ相手から送られてきたピアスの秘密を知る。2通目は、不器用だった亡夫が残した妻への誕生日プレゼント。



第2話「澤野始は夢を見た」

有名マラソン選手を撮り続けていた元テレビカメラマンからの手紙

3通目は、元カメラマン長谷部（佐藤二朗）が元マラソン選手の国城（石黒賢）へ送った手紙。引退し荒んでいた国城だが、手紙を読み気力を取り戻していく。しかし、今の長谷部には大きな秘密があった…。



第3話「澤野始は友を見た」

もう誰にも読まれることのない手紙と音信不通になっていた親友からの手紙

4通目の手紙は棺に納められた。そして、5通目。突然、音信不通になった親友・理津（京野ことみ）からの手紙を受け取り、その真相を知った看護師の笑子（黒谷友香）は、自分の思い違いと裏切りに動揺する。



第4話「澤野始は父を見た」

無実の同級生を救うため教師へ罪を告白する手紙

6通目。元教師の猪狩（大地康雄）への手紙には、自分が盗みを犯しながら同級生・晋（中尾明慶）に罪を被せてしまった光太郎（柳下大）の告白が綴られていた。自らの過ちに驚愕した猪狩が向かった先は…。



第5話「澤野始は言葉を見た」

死刑囚から届いた婚姻届そして、澤野の妻からは…

7通目、最後の配達先は、はるか（田畑智子）という平凡な主婦だった。かつて激情にかられ求婚をした死刑囚・磯辺からの手紙と知ったはるかは激しく動揺する。そして澤野には妻・正美からの手紙が…。



主題歌は佐野元春「虹をつかむ人」



主題歌は佐野元春が担当。1992年放送の「二十歳の約束」（CX系）以来、21年ぶりとなる連続ドラマへの主題歌提供となる

『ZOOEY（ゾーイ）』
佐野元春15作目の最新アルバム発売中
ユニバーサル・ミュージック/
デイズミュージック

キャラクター&キャスト紹介



◆うつ病で失職中
澤野始 [塚本高史]

うつ病で、ほとんど家から出ない。かつてはジャーナリスト志望でギラギラとした向上心にあふれていた。海外へ飛び出した後、旅行会社の添乗員に



◆岡江理容室の理容師
岡江有 [栗山千明]

父を亡くしたばかりで、幼いころに母が家を出たことを引きずっている。現在は自宅の理容室で働く。澤野の行動が理解できず、つきまとう



◆澤野の妻
澤野正美 [長谷川京子]

澤野がうつ病になって以来、精神的に追い詰められており、息子に厳しく当たることも。うつ病の原因が自分にあると思いつつ



◆澤野を担当する精神科医
井阪 [堀部圭亮]

澤野の担当医。患者に対し軽薄に接することでプレッシャーを与えないようにし、距離をとっている



◆新型うつの男
軍艦 [柄本佑]

井阪の患者。澤野とは病院で知り合う。会社にいくと症状が出るが、行かないと至って元氣



◆元教師
澤野の父 [西岡徳馬]

元教師で、地元では飲酒をしないなど厳格な性格。息子には言わなかったが、彼を誇りに思っていた



◆有の母
岡江ミソノ [有森也実]

15年前に幼い有と夫を残し駆け落ちをする。7年前に病死



◆理容師
有の父 [大和田獏]

ミソノが駆け落ちをして以来、心を閉ざすように。先ごろ病死



◆元マラソン選手
国城幸喜 [石黒賢]

オリンピックで入賞した元マラソン選手。現在は飲食店を経営



◆元テレビカメラマン
長谷部功 [佐藤二朗]

マラソンのテレビ中継のカメラマンとして、国城を撮影した



◆横浜の看護師
加納笑子 [黒谷友香]

文通をしていた理津から一方的に音信が途絶え、彼女を憎む



◆札幌の看護師
橋下理津 [京野ことみ]

沖縄旅行で笑子と知り合い、年に一度は会う約束をしていた



◆元高校教師
猪狩春晃 [大地康雄]

かつては厳格な教師だった。現在は退職し、足が不自由に



◆猪狩の元教え子
中谷晋 [中尾明慶]

退学後、同級生だった酒屋の娘のところに婿入りし、店を継ぐ



◆専業主婦
所はるか [田畑智子]

死刑囚の直也と文通を続け、求婚。現在は別の男と家庭を持つ



◆死刑囚の叔父
廣田 [近藤芳正]

粗暴な性格。非人道的な行為を重ね、おいの直也に殺される